

CSI 委託事業「日本の学術情報発信状況の調査」

業務責任者

筑波大学大学院図書館情報メディア研究科教授 逸 村 裕

業務期間

平成 21 年 9 月 1 日 ～ 平成 22 年 2 月 28 日

(業務の目的及び内容)

- ・ 20世紀後半以来続く学術情報流通に関わる商業化, 電子化, 評価関連の諸問題, オープンアクセス状況が日本の学術出版流通に与えている影響は大きい。
- ・ 国立情報学研究所のリーダーシップにより行われている国際学術情報流通基盤整備事業(SPARC Japan)及び機関リポジトリ構築関連事業は, 平成21年度末で「第二期」を終える。これまでの活動により, 45誌のパートナー誌, 110大学の機関リポジトリが立ち上がった。
- ・ 揺籃期を終え, 次の飛躍を目指すために, 世界のオープンアクセス状況と情報通信技術への対応と理念の再構築が必要であるが, 現時点では充分には整理されていない。
- ・ 本プロジェクトは, SPARC Japanと機関リポジトリを中心とした日本及び海外の学術情報発信状況を整理し, 今後の理念構築につながる報告をまとめることを目的とする。

(業務の実施計画)

- ・ 第一期～第二期のSPARC Japan事業のまとめを行う。
- ・ SPARC Japan事業を中心とする日本の学術情報発信, 機関リポジトリ構築に関わる事実と技術動向, 内外オープンアクセス状況等の調査および分析, 学位論文や科学研究費補助金成果の機関リポジトリ登載に伴う問題の整理と解決へ向けてのまとめを行う。

以上